

編集後記

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りしております。本研究会といたしましても、復興に向けた可能な限りの支援を行ってまいります。

さて、大規模地震、津波、局地的な集中豪雨等の自然災害や原子力発電所事故など、国民の安全・安心に対する意識は一層高まり、また社会経済構造は大きな変化を遂げ、その影響が広く現れております。本研究会でも、平成23年度総会の中で「現場のナマの声」として、平山先生（『東日本大震災における防災・減災と環境衛生工学』）、吉岡先生（『仙台市を中心とした災害廃棄物の現状とその処理』）に御講演を頂きました。多くの企業や大学、公的機関にとって、従来の常識をはるかに超える様相と規模の災害がつねに発生し得ることを忘れることなく、リサイクルのあるべき姿を考える良い機会を頂けたと考えております。

復興に向けての厳しい現実の中でも、環境問題に配慮した省エネルギー・リサイクルシステムの導入促進が大きな注目を集めています。私たち編集委員会も、その一端を担うべく新しい挑戦を続けてまいりますので、皆様のより一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

（郭 玉茜 記）